

金沢大学 環境報告書 2022

Environmental
Management Report 2022,
Kanazawa University

ダイジェスト版

報告対象期間:2021年度
(2021年4月~2022年3月)

金沢大学では様々な環境活動を通して、
地球と暮らしを守るための取組みに
チャレンジしています。

学生等が世界や地域でフレッシュな力を発揮して取組む3つの環境活動を紹介します!

バリューチェーンマネジメント

金沢大学生協の環境負荷軽減活動 ~学内で手軽にできるエコ活動~

レジ袋無料配布の中止

生協購買では、2009年からレジ袋の無料配布をやめ、レジ袋を有料化することで、プラスチックゴミの削減に取り組んでいます。2021年度は年間合計466,427名の来客数のうち、レジ袋を購入した方が1,172名、来客数全体の99.63%の方がレジ袋購入を辞退しました。なお、レジ袋の販売代金については、1枚あたり5円の計算で「公益社団法人いしかわ環境パートナーシップ県民会議」に毎年寄付をしています。2021年度分の寄付金額は8,980円となりました。

食品ロス削減の取り組み

食品ロスは、廃棄物処理問題や、焼却処理によるCO₂排出による地球温暖化の進行に繋がります。生協の食堂、購買では食品ロスの削減に取り組んでいます。その一環として、生協食堂では、2020年10月以降の食事の提供方法の変更を行い、2021年の廃棄量が、2019年に比べて大幅に減少しました。

グリーン購入の推進

金沢大学では、「国等による環境物品等の調達に関する法律」に沿って、毎年度方針を定め、環境物品等の調達を推進しています。2021年度の調達実績(公共工事に関するものは除く)の物品調達に関しては、判断の基準を満足する物品等を調達することができなかった品目は自動車等の1品目でした。目標を達成できなかった主な理由としては、半導体不足のため納期を優先したことなどがあげられます。その他、調達を実施する品目については、調達目標100%を達成しました。

「金沢大学キャンパス環境整備の会」 2021年度ボランティア活動

当会は、金沢大学角間キャンパスの屋外環境整備・保全をボランティア活動により、キャンパスの緑化・整備推進に貢献することを目的に設立され、2021年4月をもって、丁度12年を経過しました。当初、21人で発足しましたが、高齢化と若い人の新規加入が少ないため2021年度会員は12名です。作業(除草)対象区域の面積は角間キャンパスの除草区域20haのうち、1割の2haを担当しています。活動日は、毎週1回で(隔週ごとに火曜日と木曜日を交互する)、月4回です。主として9時から11時の2時間で刈払機を使用する除草作業を施設部との連携の下に行います。作業には、危険が伴うため、ボランティア保険に加入しています。



金沢大学環境方針

【基本理念】

金沢大学は、「地域と世界に開かれた教育重視の研究大学」という基本理念に基づいて、未来社会をけん引する「金沢大学ブランド人材」の育成と世界的研究拠点の形成に取り組み、現代から未来の課題を探究し克服する生きた知恵である「未来知」による、オール金沢大学での社会への貢献を目標とし、以下の基本方針の下に、人間と自然とが調和・共生する持続可能な社会の構築を目指します。

【基本方針】

1. 環境に関する先進的教育を継続的に推進し、持続可能な社会の構築に貢献する「金沢大学ブランド人材」の育成に努めます。
2. 環境技術、環境計測、環境政策、環境医学、生物多様性など、幅広い分野において世界的な視野に立ちながら地域の特性を生かした環境に関する研究を推進します。
3. 本学の活動が環境に及ぼす影響を調査・解析するとともに、環境負荷の低減のため、資源・エネルギーの使用量削減、GHG(温室効果ガス)の削減に積極的に取り組みます。
4. 化学物質の安全かつ適正な管理、廃棄物の適正処理と再利用・再資源化により、環境負荷の低減に努めます。
5. 環境に関わる知的成果を含むあらゆる情報を社会に還元・公開し、環境問題に対する啓発に努めます。
6. 本学が実施するあらゆる活動において、環境に関する法規・規制・協定等を遵守するとともに、本学の全ての構成員が協力し、「持続可能な開発目標(SDGs)」を達成すべく継続的な環境マネジメントシステムを実施します。

2022年9月1日 金沢大学長

和日隆志

「金沢大学環境報告書2022」の本編は金沢大学Webサイトで公開しています。
<http://www.adm.kanazawa-u.ac.jp/wp-content/uploads/2022/09/emr2022.pdf>

【金沢大学環境マネジメントシステム】

(2016年4月1日現在)

全学がひとつとなって委員会やチームを組織。PDCAサイクルによる継続的改善と実行力アップに努めています。

【施設環境企画会議】

大学の方針・目標の策定、活動計画の立案など

【学生・教職員】

取組みの実施、規制等の遵守など



【学長・役員】

全体の評価と見直し

【環境調査チーム】

取組みの実施状況の確認、改善のための助言など

金沢大学環境報告書 2022

【ダイジェスト版】2022年10月発行

報告対象期間:2021年度(2021年4月~2022年3月)
発行:金沢大学

お問合せ先:金沢大学 施設部 施設企画課
〒920-1192 金沢市角間町(自然科学5号館1階)
TEL.076-264-6180 FAX.076-234-4030
e-mail:faunei@adm.kanazawa-u.ac.jp



環境問題の政策研究と 武者修行

環境に関する教育と研究

環境問題への取り組みは様々ありますが、経済学類では政策や制度設計を通じて環境問題を考える講義がおこなわれています。単に講義を聴講するばかりでなく、仮説を立て、データを収集し、重回帰分析やロジスティック 重回帰分析などのモデル分析をおこない、統計的手法で仮説検証をおこなう実証研究を体験できるカリキュラムを用意しています。



論文研究発表会の様子

被災地に行けなくてもできる 災害ボランティアや防災啓発

学生活動

金沢大学ボランティアサーボとステーションでは、2011年のサークル創設以来、東日本大震災被災地の岩手県陸前高田市や、近年では西日本豪雨被災地の岡山県真備町、2019年台風19号水害被災地の長野県長野市など、毎年何度も被災地への派遣を行って来ました。2020年度以降コロナ禍でも金沢からできる災害ボランティアや防災啓発の形を模索し始め、2021年度にはいくつかの有意義な活動を確立させることができました。



「3.11を折るついで2022」イベント後の記念撮影



2019年台風19号水害で被災した写真の洗浄

附属図書館の取り組み

ステークホルダーエンゲージメント

附属図書館では、「金沢大学環境方針」の下、「金沢大学附属図書館環境行動計画」(令和4年4月1日)を策定し、持続可能な社会の構築に貢献する人材の育成及び環境に関する研究の推進を資料や情報面からサポートしています。



ブックリユース市 SDGsに関する企画展示



環境学コレクション6,490冊(2022年3月末)

